

平成28年度 第3学年 授業改善プラン

| 教科 | 観 点 | 課 題 | 指導の視点 | 具体的な手立て・改善策 |
|---------------------------------|---------------------------------|--|---|---|
| 国語 | 国語への関心・意欲・態度 | <ul style="list-style-type: none"> 話を最後まで聞かずに、大事なことを聞き洩らすことがある。 漢字の書き取りにおいて、筆順の間違いが目立つ児童が多く、また、既習の漢字を活用することに課題がある。 文章を順序立てて書くことが困難な児童が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> 聞く姿勢を身につけ、聞く時の視点を意識し、思考、判断力を高めることができるようにする。 漢字の書き取り練習を普段の書きに活用するなど、知識、技能を確実に身につけることができるようにする。 文章の構成を理解、活用し、達成感や成就感をもつことができるようにする。 友達の良いところを意識できるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 日常の学習活動の中で、大事なことは何かを考えながら聞く姿勢を事前に作る。 定期的に既習の漢字テストを行う。また、漢字の練習の際に、新出漢字を用いて例文を作成する。 「はじめ」「中」「終わり」に分けて文章を書くことを意識させる。 友達の良いところを意識的に伝え合うような手立てをとる。 |
| | 話す・聞く能力 | | | |
| | 書く能力 | | | |
| | 読む能力 | | | |
| | 言語についての知識・理解・技能 | | | |
| 全国学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて | | <ul style="list-style-type: none"> 漢字の書き取りを正確にできるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 机間指導をする際に、とめ・はね・はらいなどの細かい部分を指導していく。また、筆順も合わせてチェックしていく。 | |
| 社会 | 社会的事象への関心・意欲・態度 | <ul style="list-style-type: none"> 教師が教えたことや自分で調べたことには興味をもつことができるが、そこから更に疑問をもって追究することができていない児童が多い。 資料の活用、読み取りは、慣れていないため、不十分である。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分たちに関わりのある事象に対する関心を持ち、自ら学ぶ意欲をより高められるようにする。 知識や技能を確実に身につけられるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 関係のある資料を多く提示することで様々な視点から考えることができるようにする。 クイズ作成や問題づくりを通して理解を深める授業を取り入れる。 資料の活用の仕方、読み取り方を多く、細かく提示していく。 |
| | 社会的な思考・判断・表現 | | | |
| | 観察・資料活用の技能・表現 | | | |
| | 社会的事象についての知識・理解 | | | |
| | 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて | | | |
| 算数 | 算数への関心・意欲・態度 | <ul style="list-style-type: none"> 問題解決型の学習の検討・考察の場面において、友達の考えのよい所や自分の考えと異なる部分などを意識して捉えられないことが多い。 かけ算、繰り上がり、繰り下がりのある計算、時刻と時間のもとのめ方や長さの問題が苦手な児童が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分と同じところ、違うところを意識して聞くなど、思考力、判断力を高めることができるようにする。 時間の単位「秒」の概念や、1分は60秒等の単位関係、距離や道のりの意味や求め方など、知識、技能を確実に身に付けられるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 検討・考察場面において、聞く時の視点を提示する。また、ノートに書く際の型を提示する。 基本的な計算については、繰り返し、スパイラル学習を行う。時刻と時間は十進法と異なるが、児童に理解を十分させるべく復習時間を多く設定する。長さや体積について、およその見当を付けたり、計器を用いて測定する活動を多く取り入れる。また、練習問題を定期的に行っていく。 |
| | 数学的な考え方 | | | |
| | 数量や図形についての技能 | | | |
| | 数量や図形についての知識・理解 | | | |
| | 全国学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて | | | |
| 理科 | 自然事象への関心・意欲・態度 | <ul style="list-style-type: none"> 自然現象など、日常生活との関わりを意識することが難しい。 物事を科学的に考える機会が少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> 日常生活の当たり前の事象を科学的な視点から捉え、思考力・判断力を高めることができるようにする。 身近な自然について、差異点・共通点という視点から考える力を身につけさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 児童の日常生活で見かける事象に置き換えて問題を提示したり、児童がより考えられる発問の工夫をする。 一つの事象に対して、ワークシートにおける観察を継続して行ったり、関連した資料を提示したりすることで、児童が比較し、差異点・共通点を見出すことができるよう工夫する。 実験においては、予想をたて、実験し結果も出す、そこから言えることをまとめるという学習過程を意識させ、思考を深める工夫をする。 |
| | 科学的な思考・表現 | | | |
| | 観察・実験の技能・表現 | | | |
| | 自然事象についての知識・理解 | | | |
| | 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて | | | |
| 音楽 | 音楽への関心・意欲・態度 | <ul style="list-style-type: none"> 元気よく歌うことはできるが、歌声や音色に気を付けて演奏することが難しい児童がいる。 リコーダーの基本的な奏法を身に付けるのに個人差がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 姿勢や歌声、発音に気を付けて歌わせる。 児童が興味をもって取り組める教材を準備し、楽しく奏法を身に付けられるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 身体表現をして楽しく音楽にかかわらせる。 教師や友達の歌や演奏を聴き、自分の歌声や楽器の音色に気を付けるようにする。 タンギングや息の出し方、運指に気を付け、きれいな音色で吹くことができるようにする。 |
| | 音楽表現の創意工夫 | | | |
| | 音楽表現の技能 | | | |
| | 鑑賞の能力 | | | |
| | 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて | | | |
| 図画工作 | 造形への関心・意欲・態度 | <ul style="list-style-type: none"> 制作への集中が続かずに、すぐに自席を離れてしまう児童や、作品作りに気持ちを向けられない児童がいる。また、めあてにそって、丁寧に取り組むことが難しい児童もまだ多く、改善に至ってない。まだまだ個性が強く、集団としての意識が低い。 展示会に向け、よりよい表現の工夫をする。 | <ul style="list-style-type: none"> 課題に興味を持たせる手立てを考える。制作に気持ちを向けられる教室環境づくりをする。集団規律について、繰り返し指導する。 表現は伝えたいという思いから生まれることを意識させ、制作に臨ませる。 | <ul style="list-style-type: none"> 課題名を工夫し、めあての言葉をシンプルにする。また、課題名やめあての言葉は、掲示物として大きく作成し、黒板に掲示し、意識させる。道具や材料については、使いやすいうに整理整頓し、授業に必要なものは準備室にしまう。 授業後に進度チェックをし、よく工夫しているものを次の時間に紹介する。また個々に対して、より豊かな表現へのアドバイスをする。 |
| | 発想や構想の能力 | | | |
| | 創造的な技能 | | | |
| | 鑑賞の能力 | | | |
| | 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて | | | |
| 体育 | 運動や健康・安全への関心・意欲・態度 | <ul style="list-style-type: none"> 体全体を運動させた動きが苦手な児童が多い。 器械運動やボールゲームの用具の扱いなどの技能面での個人差が大きい。 ルールが理解できずに違うことをしてしまう児童が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> 技能を確実に身につけることができるようにする。 器械運動や道具の使い方など、確実に身につけることができるようにするとともに、意欲的に活動できるように、友達の良いところを認め合うなどし、コミュニケーション能力を高めることができるようにする。 ルールを簡単なものにしたたり、分かりやすく図で説明したりする。 | <ul style="list-style-type: none"> コーディネーショントレーニングやサーキットなどを活用し、体の多様な動きを身につけさせる。 友達の動きのよさやそこから学んだコツを自分の動きに生かせるように共有する時間をつくる。 ホワイトボードを活用し、毎回の授業の流れを提示する。また、ルールを簡潔に書くことで視覚的に児童に伝えられるようにする。 |
| | 運動や健康・安全についての思考・判断 | | | |
| | 運動の技能 | | | |
| | 健康・安全についての知識・理解 | | | |
| | 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて | | | |